

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-198316

(43)Date of publication of application : 24.07.2001

(51)Int.Cl.

A63F 7/02

(21)Application number : 2000-013279

(71)Applicant : SOPHIA CO LTD

(22)Date of filing : 21.01.2000

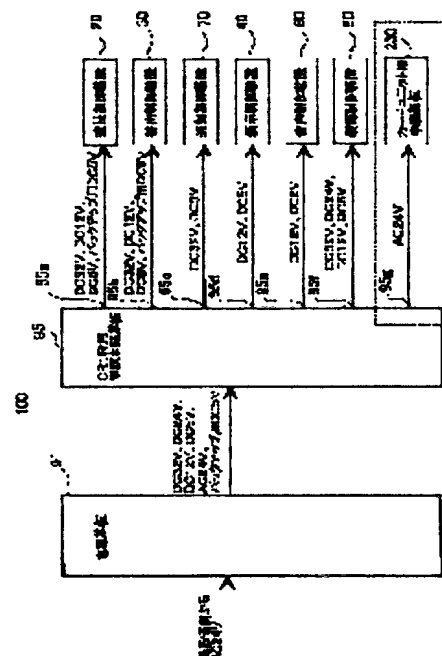
(72)Inventor : IOKI SADAO

## (54) PACHINKO GAME MACHINE

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a pachinko game machine, the power source apparatus of which can be shared with each other to make an efficient use of the space.

**SOLUTION:** In the pachinko game machine the approach to a particular prize section by a game medium triggers an auxiliary game and a prescribed game value can be given based on the result of the auxiliary game. The pachinko game machine comprises a control device to control games including the auxiliary game, a power source substrate which can supply various power source voltages and a power source junction substrate which can draw a desired power source used for a prescribed group of playing tools from among various power sources supplied from the power source substrate. By means of the power source junction substrate, power source is supplied from the power source substrate at least to the control device.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号  
特開2001-198316  
(P2001-198316A)

(43)公開日 平成13年7月24日(2001.7.24)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テームコード(参考)
A 6 3 F 7/02	3 2 6 3 0 4	A 6 3 F 7/02	3 2 6 Z 2 C 0 8 8 3 0 4 Z

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 14 頁)

(21)出願番号 特願2000-13279(P2000-13279)

(22)出願日 平成12年1月21日(2000.1.21)

(71)出願人 000132747

株式会社ソフィア

群馬県桐生市境野町7丁目201番地

(72)発明者 井置 定男

群馬県桐生市宮本町3-7-28

(74)代理人 100090033

弁理士 荒船 博司 (外2名)

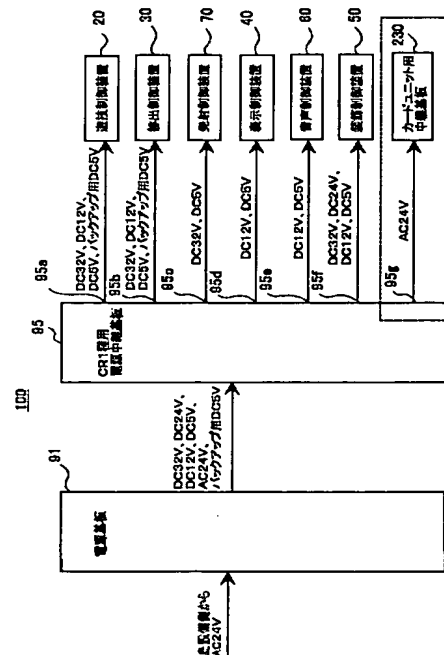
Fターム(参考) 2C088 BB03 DA24 EA10 EA28

(54)【発明の名称】 遊技機

(57)【要約】

【課題】 電源装置を遊技機同士で共用可能であるとともに、スペースの有効活用を可能とする遊技機を提供する。

【解決手段】 特定入賞部への遊技媒体の進入に起因して補助遊技を行い、この補助遊技の結果に基づき所定の遊技価値を付与可能となる遊技機である。補助遊技を含む遊技を制御する制御装置と、各種電源電圧を供給可能な電源基板と、電源基板から供給された各種電源のうち、所定のグループ内の遊技機において使用される所望の電源を導出可能な電源中継基板とを備える。この電源中継基板を介して、前記電源基板から少なくとも前記制御装置に対し電源を供給する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 特定入賞部への遊技媒体の進入に基づき補助遊技を行い、この補助遊技の結果に起因して所定の遊技価値を付与可能となる遊技機であって、前記補助遊技を含む遊技を制御する制御装置と、各種電源電圧を供給可能な電源基板と、前記電源基板から供給された各種電源のうち、所定のグループ内の遊技機において使用される所望の電源を導出可能な電源中継基板とを備え、この電源中継基板を介して、前記電源基板から少なくとも前記制御装置に対し電

源を供給することを特徴とする遊技機。  
 【請求項 2】 前記制御装置は、遊技を統括的に制御する主制御装置と、前記主制御装置から送信された指令信号に基づき所定の制御を行う従制御装置と、を含み、前記電源中継基板は、前記主制御装置と従制御装置の各々に対し、別個に電源を供給することを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】 前記遊技機は、遊技機本体と、カードユニットとを含み、前記電源中継基板は、前記カードユニットに対し所定の電源を供給可能な出力部を備えることを特徴とする請求項 1、2 記載の遊技機。

【請求項 4】 前記電源基板は、前記所定のグループ内の遊技機同士で共用されるものであり、前記電源中継基板に対し電源を供給するための電源供給用ポートを、前記所定のグループにおける最大想定数だけ有することを特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載の遊技機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、電源基板と、この電源基板から電源を供給される制御装置とを備える遊技機に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来の遊技機、特にパチンコ遊技機は、遊技機外部からの電源（例えば、AC24V）をターミナル基板（例えば、遊技機裏面に備えられた、電源スイッチを含む基板）を経て、各制御装置（例えば、遊技制御装置、排出制御装置）に供給し、各制御装置でそれぞれの制御装置で使用する電源を生成していた。また、表示制御装置などは、ターミナル基板から直接的に電源供給されるのではなく、遊技制御装置（主制御装置）から電源を供給されていた。同様に、カードユニット用中継基板は、排出制御装置から電源を供給されていた。さらに、従来のパチンコ遊技機は、その遊技内容によって、いわゆる第 1、第 2、第 3 種などの種別、或いは、その他の種別などに分類されており、各種別毎に使用する（必要とする）電源の種類が異なる。また、いわゆる C

R 機と現金機といった種別の分類をした場合にも、互いに使用する電源の種類が異なる。加えて、各々の種別の中でも、個々の機種により使用する電源の種類が異なる場合がある。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 このように、従来の遊技機、特にパチンコ遊技機の場合、遊技機外部から供給された電源により各制御装置でそれぞれの制御装置において使用する電源を別個に生成しなければならないという問題があり、これにより各制御装置の基板面積も大きくなり、遊技機裏面の限られたスペースを有効に活用できないという問題もあった。さらに、表示制御装置などには、遊技制御装置から電源供給されるので、遊技制御装置に異常が発生した場合、遊技制御装置だけでなく表示制御装置にまで影響が及ぶ可能性があった。同様に、排出制御装置に異常が発生した場合も、この排出制御装置から電源供給されるカードユニット用中継基板にまで影響が及ぶ可能性があった。

【0004】 また、各制御装置に対して電源を供給する共通の電源装置を設ける場合、使用する電源の種類が遊技機によって異なるため、遊技機毎に電源装置を変更しなければならないといった問題がある。即ち、新たな遊技機を開発する際に従来の遊技機の電源装置をそのまま流用できないため、開発コスト及び製造コストがかさむといった問題がある。加えて、既存の遊技機の電源装置を新しい遊技機に流用できないので、不要となった電源装置は廃棄せざるを得ず、環境問題も生じてくる。

【0005】 さらに、第 1、第 2、第 3 種といった種別や、CR 機、現金機といった種別に分類した場合、種別毎に互いに使用する電源の種類が異なるため、各種別で共通の電源基板を使用することが難しいといった問題がある。

【0006】 この発明は、上記のような問題点を解決するためになされたもので、電源装置を遊技機同士で共用可能であるとともに、スペースの有効活用を可能とする遊技機を提供することを目的とする。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するため、請求項 1 記載の発明は、特定入賞部（例えば、普通変動入賞装置 9、始動装置 709、1 回開放入賞装置 809、2 回開放入賞装置 810 など）への遊技媒体（例えば、遊技球）の進入に基づき補助遊技を行い、この補助遊技の結果に起因して所定の遊技価値を付与可能となる遊技機（例えば、パチンコ遊技機 100、600、700、800 など）であって、前記補助遊技を含む遊技を制御する制御装置（例えば、遊技制御装置 20、排出制御装置 30、表示制御装置 40、装飾制御装置 50、音声制御装置 60、発射制御装置 70 など）と、各種電源を供給可能な電源基板（91、92）と、前記電源基板（91、92）から供給された各種電源のうち、所定

のグループ内の遊技機において使用される所望の電源を導出可能な電源中継基板(95, 96, 97, 98)とを備え、この電源中継基板を介して、前記電源基板から少なくとも前記制御装置に対し電源を供給することを特徴としている。

【0008】この請求項1記載の発明によれば、電源基板から供給された各種電源のうち、所定のグループ内の遊技機において使用される所望の電源を導出可能な電源中継基板を備えているので、電源基板から電源中継基板に供給された電源電圧のうち、そのグループ内の遊技機において必要な電源電圧のみを抽出して制御装置に対して導出可能となる。従って、電源中継基板および電源基板は、そのグループ内の遊技機同士で流用(共用)することができる。さらに、電源中継基板を、別なグループ内の遊技機において使用される所望の電源を導出可能な電源中継基板と交換することにより、一つの電源基板を、別なグループ内の遊技機においても共用することが可能となる。加えて、電源基板を、所定のグループ内の遊技機同士では勿論、別なグループ内の遊技機においても共用できることにより、開発コストや製造コストを低減できると共に、リサイクル性に優れた遊技機を提供することができる。

【0009】また、遊技機(例えばパチンコ遊技機)には複数の制御装置が備えられている場合が多く、従来は、各制御装置で使用する各種電源を生成する電源基板は、それぞれの制御装置に個別に設けられていた。これに対し、この請求項1記載の発明によれば、各種電源を供給可能な電源基板から、各制御装置に対し電源を供給するようにしたので、同じ電源電圧を複数の制御装置でそれぞれ生成することなくまとめて生成できる。つまり、従来は各制御装置にそれぞれ設けられていたため複数存在した電源基板を1つに集約した構成となるので、各制御装置内の制御基板の基板面積をコンパクトにでき、遊技機裏面の限られたスペースを有効に活用することができる。

【0010】ここで、特定入賞部としては、例えば、第1種のパチンコ遊技機における普通変動入賞装置(特図始動口)、第2種のパチンコ遊技機における開放入賞装置(開放入賞口)、第3種のパチンコ遊技機における始動装置(始動口)などが挙げられる。遊技媒体とは、例えば、パチンコ遊技機において使用される遊技球などである。補助遊技は、パチンコ遊技機の中でも第1種、第2種、第3種などの分類により態様が異なり、第1種の場合、例えば、特図始動口への遊技媒体の進入に基づき行われる特図の変動表示遊技が補助遊技に相当し、第2種の場合、例えば、開放入賞口への遊技媒体の進入に基づき行われる変動入賞装置の開閉部材の開閉動作が補助遊技に相当し、第3種の場合、例えば、始動口への遊技媒体の進入に基づき行われる図柄可変表示遊技が補助遊技に相当する。そして、第1種、第2種、第3種のパチ

ンコ遊技機のいずれにおいても、各々の補助遊技の結果に起因して、いわゆる大当たりが発生した場合に、特別遊技が行われ、この特別遊技により、遊技者に対し所定の遊技価値(賞球の大量獲得の機会など)を付与可能となる。また、補助遊技を含む遊技には、補助遊技の他に、上記特別遊技、第1種のパチンコ遊技機における普通図の変動表示遊技、各種のパチンコ遊技機における賞球の排出、ランプ類、LED類などの装飾部材の点灯・点滅、効果音の出力、遊技球の発射などが含まれる。ここで、制御装置には、第1種ならびに第3種のパチンコ遊技機の場合、遊技制御装置、排出制御装置、発射制御装置、装飾制御装置、表示制御装置、音声制御装置などが含まれる。第2種のパチンコ遊技機の場合、遊技制御装置、排出制御装置、発射制御装置、装飾制御装置、音声制御装置などが含まれる。

【0011】また、所定のグループとは、同様の種類の電源電圧を必要とする遊技機をグループにしたものであり、その結果として、例えば、第1種のパチンコ遊技機のうちの数機種毎、第2種のパチンコ遊技機のうちの数機種毎、第3種のパチンコ遊技機のうちの数機種毎といったグループ分けや、第1種のパチンコ遊技機のグループ、第2種のパチンコ遊技機のグループ、第3種のパチンコ遊技機のグループ、といったグループ分けや、第1種、第3種のパチンコ遊技機の中でも、いわゆるCR機、現金機といったグループ分けなどがある。ここで、CR機とは、球貸用のプリペイドカードを用いて球貸を受けた遊技球を用いて遊技を行うものであり、現金機とは、例えば、遊技機横に設置されたサンド(球貸装置)への現金投入などにより球貸を受けた遊技球を用いて遊技を行うものである。

【0012】電源基板は、遊技機外部から供給された電源をもとに、所定のグループ内の遊技機で使用する各種電源(各種電源電圧)を生成し、これら各種電源を電源中継基板に対し供給可能なものである。ただし、遊技機外部から供給された電源電圧もそのまま用いる場合には、電源基板から電源中継基板に供給されるのは、電源基板で生成した電源電圧と、遊技機外部から供給された電源電圧であり、電源基板は、遊技機外部から供給された電源電圧を中継する機能を兼ね備えることになる。この電源基板は、電源中継基板に対し電源を供給するための電源供給用ポートを、所定のグループにおける最大想定数だけは少なくとも備えることとするが(最大想定数を超えて備えても良いが)、請求項4記載のように必要最小限だけ備えることが、省スペース化を図る上で望ましい。

【0013】そして、本発明に係る電源中継基板は、上記のような各グループ内の遊技機において使用される電源電圧のみを、電源基板から供給された各種電源電圧から抽出して、少なくとも各制御装置に対してそれぞれ導出可能なものである(制御装置に加えて、カードユニッ

ト用中継基板などの制御装置以外の機器に対し導出する場合もある)。さらに、このような電源中継基板は、各グループ毎に対応したものを予め用意しておき、必要に応じて使い分けることが可能なようにしておくことが望ましい。

【0014】請求項2記載の発明は、請求項1記載の遊技機において、前記制御装置は、遊技を統括的に制御する主制御装置（例えば、遊技制御装置20）と、前記主制御装置から送信された指令信号に基づき所定の制御を行う従制御装置（例えば、排出制御装置30、表示制御装置40、装飾制御装置50、音声制御装置60、発射制御装置70）と、を含み、前記電源中継基板は、前記主制御装置と従制御装置の各々に対し、別個に電源を供給することを特徴としている。

【0015】ここで、例えば、第1種、第3種のパチンコ遊技機の場合、主制御装置は遊技制御装置であり、従制御装置には、例えば、排出制御装置、発射制御装置、装飾制御装置、表示制御装置、音声制御装置などが含まれる。従来は、従制御装置のうち表示制御装置などに対しては、遊技制御装置で生成された電源が供給されていたため、万が一、主制御装置が故障した場合には、従制御装置の一部にも悪影響が及ぶ恐れがあった。

【0016】この請求項2記載の発明によれば、電源中継基板から主制御装置と従制御装置の各々に対し別個に電源が導出されるので、万が一、主制御装置に故障が発生した場合でも従制御装置に悪影響が及ぶ心配がない。

【0017】請求項3記載の発明は、請求項1、2記載の遊技機において、前記遊技機は、遊技機本体（100a）と、カードユニット（500）とを含み、前記電源中継基板は、前記カードユニットに対し所定の電源を供給可能な出力部（95g）を備えることを特徴としている。

【0018】ここで、カードユニットとは、球貸用のブリペイドカードを用いる、いわゆるCR機と呼ばれるパチンコ機において、遊技機本体の横に併設されており、遊技機本体内の排出制御装置との協働により、球貸しを行うためのものである。従来、カードユニットには、排出制御装置で生成した電源が供給されており、カードユニット側では、供給された電源を遊技機本体とカードユニットとのデータ通信や、遊技機本体側に備えられるカードユニットとの通信手段の電源に使用していた。しかし、この場合、排出制御装置が万が一故障した際には、カードユニットと遊技機本体との通信にも問題が生じてしまう可能性があった。

【0019】この請求項3記載の発明によれば、電源中継基板は、カードユニットに対し所定の電源を導出可能な出力部を備えているので、電源中継基板からカードユニットに対し電源を出力できる。従って、排出制御装置が万が一故障した場合であっても、カードユニットには電源が供給されるため、カードユニットと遊技機本体と

の通信には問題がない。

【0020】ここで、具体的には、例えば、パチンコ遊技機、特にCR機においては、電源中継基板からカードユニットに供給される電源を中継するカードユニット用中継基板が備えられており、電源中継基板から供給された電源は、このカードユニット用中継基板を介して、カードユニットに対し供給されるようになっている。

【0021】請求項4記載の発明は、請求項1、2又は3記載の遊技機において、前記電源基板は、前記所定のグループ内の遊技機同士で共用されるものであり、前記電源中継基板に対し電源を供給するための電源供給用ポートを、前記所定のグループにおける最大想定数だけ有することを特徴としている。

【0022】この請求項4記載の発明によれば、電源基板は、所定のグループ内の遊技機同士で共用されるものであるため、電源基板のリサイクルが可能となる。従って、電源基板を、すべての遊技機種に対応して開発する必要が無く、開発コスト低減が可能である。しかも、電源基板のリサイクルが可能のため環境問題にも対応した遊技機とすることができる。また、使用する電源電圧の種類に応じて、予め複数種類の電源基板を用意しておき、これら電源基板を遊技機種によって使い分けるといったこともできる。加えて、電源基板は、電源中継基板に対し電源を供給するための電源供給用ポートを、所定のグループにおける最大想定数だけ有するので、電源供給用ポートの数を必要最小限とすることができ、電源基板の基板面積をコンパクト（必要最小限）にすることができる。

【0023】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して、本発明に係る実施の形態例について説明する。

【0024】＜第1の実施の形態例＞図1は、本発明に係る遊技機として例示するパチンコ遊技機100を示す正面図、図2はパチンコ遊技機100の背面図、図3はパチンコ遊技機100における電源供給系統を示すブロック図である。

【0025】本発明に係るパチンコ遊技機100は、図3に示すように、各種電源電圧（各種電源）を供給可能な電源基板91と、この電源基板91から供給された各種電源電圧のうち所望の電源電圧を導出可能な電源中継基板95とを備え、この電源中継基板95を介して、電源基板91から制御装置20、30、40、50、60、70などに対しそれぞれ必要な電源電圧を供給することにより、従来は各制御装置20、…にそれぞれ設けられていたため複数存在した電源基板を1つに集約した構成とし、これにより各制御装置20、…内の制御基板の基板面積をコンパクトにして遊技機裏面の限られたスペースの有効活用を可能とし、さらに、このように、電源基板91から供給された各種電源電圧のうち、所望の電源を導出可能な電源中継基板95を適宜交換すること

により、一つの電源基板91を、異なる電源電圧を必要とするパチンコ遊技機においても共用可能とすることを主な特徴としている。

【0026】この実施の形態のパチンコ遊技機100は、いわゆる第1種のCR機と呼ばれるものであり、遊技機本体100aと、この遊技機本体100aの横に併設されたカードユニット500とからなり、このカードユニット500のカード挿入口501内に球貸用のブリベイドカード(図省略)を挿入し、このカードの残高に

もとづき球貸を受けた遊技球を用いて遊技を行うものである。

【0027】このパチンコ遊技機100における遊技は、遊技機本体100aの内部の遊技領域1a(後述)内に遊技球(遊技媒体)を発射して行うようになっており、遊技機本体100aの前側上半部には、ガラス板101が前面カバー部材102に保持された状態で取付けられ、このガラス板101の奥側には、ガイドレール2で囲まれた遊技領域1aを有する遊技盤1が設置されている。

【0028】この遊技盤1の遊技領域1aには、普図始動ゲート6、6、この普図始動ゲート6、6への遊技球の通過に基づき行われる普図可変表示遊技の未処理回数を表示する普図始動記憶表示器6a、普図可変表示遊技を表示する普通図柄(普図)の可変表示装置7、特図の始動口を兼ねた普通変動入賞装置(特定入賞部)9、この普通変動入賞装置9に設けられ普図可変表示遊技の結果如何により開閉する開閉部材9a、9a、普通変動入賞装置9への遊技球の進入に基づき行われる特図可変表示遊技の未処理回数を表示する特図始動記憶表示器4b、…、特図の可変表示遊技などを表示する特図の可変表示部4aを備える特別図柄(特図)の可変表示装置4、開閉扉5aおよび開閉扉5aの内側の大入賞口5bを備える特別変動入賞装置5、一般入賞口8、…、風車と呼ばれる打球方向変換部材14、…、装飾ランプ11、…、サイドランプ12、12、多数の障害釘(図省略)、アウト球を回収するためのアウト穴13などが設けられている。

【0029】このうち、普通変動入賞装置(特定入賞部)9への遊技球の進入に基づき、特図の可変表示遊技(補助遊技)が行われ、特別図柄(特図)の可変表示装置4の図柄が、例えば、「1、1、1」、「7、7、7」などのゾロ目といった、所定の停止態様で停止すると、大当たりが発生して特別遊技が開始される。これにより、特別変動入賞装置5の開閉扉5aが開放して(この開放は、所定の継続条件を満たすことにより、複数回繰り返される)、大入賞口5bへの遊技球の入賞が容易な状態となり、遊技者に対し所定の遊技価値(賞球の大量獲得の機会など)を付与可能となる。

【0030】また、遊技機本体100aの前側下半部には、貸球、あるいは貸球の払い出しにより排出された遊

技球を貯留する上皿105が設けられている。この上皿105の上面には、カードユニット500にカードを挿入した状態で押圧操作することで上皿105に遊技球の排出動作を行うための球貸スイッチ105a、カードユニット500に挿入されたカードの返却動作を行うための返却スイッチ105b、ならびに、カードユニット500に挿入されたカードの残高を表示するカード残高表示装置105cなどが設けられている。さらに、上皿105の下側には、上皿105に収容しきれない遊技球を収容する下皿107、前記遊技領域1aに向けて遊技球の発射操作を行うための操作ハンドル104などが設けられている。

【0031】つぎに、図2に示すように、遊技機本体100aの前面枠111に取り付けられた裏機構盤120の裏側には、予備球を貯留するための貯留タンク121、該貯留タンク121からの予備球を整列させながら流下案内する導出樋122、該導出樋122により流下案内される球の球抜きなどを行う球抜きユニット123などが配設されている。

【0032】さらに、裏機構盤120の裏側には、遊技制御回路(図省略)を有し、前記補助遊技(特図の可変表示遊技)を含む遊技を統括的に制御する遊技制御装置20、遊技球の排出制御等を行う排出制御装置30、特図の可変表示装置4の可変表示部4aの表示制御を行う表示制御装置40、装飾ランプ11、…やサイドランプ12、12など各種ランプ類やLED類の点灯・点滅状態を制御する装飾制御装置50、スピーカ(図省略)等の出力を制御する音声制御装置60、遊技機前面の操作ハンドル104の操作に基づき遊技球を遊技領域1aに発射させるための発射装置71、該発射装置71の制御を行う発射制御装置70などが設けられている。

【0033】これら各制御装置20、…のうち、遊技制御装置20は、課題を解決するための手段に記載の制御装置のうちの主制御手段として例示されるものであり、排出制御装置30、表示制御装置40、装飾制御装置50、音声制御装置60、発射制御装置70は、それぞれ制御装置のうちの従制御装置として例示されるものである。即ち、これら排出制御装置30、表示制御装置40、装飾制御装置50、音声制御装置60、発射制御装置70による各制御は、それぞれ遊技制御装置20から送信された指令信号に基づき行われるものであり、遊技制御装置20は、これら排出制御装置30、表示制御装置40、装飾制御装置50、音声制御装置60、発射制御装置70との協働により補助遊技を含む遊技を統括的に制御するものである。なお、遊技制御装置20から排出制御装置30に送信された指令信号に基づき、排出制御装置30から発射制御装置70に指令信号が送信され、この指令信号によって、発射制御装置70による発射装置71の発射動作の制御が可能な状態と、不可能な状態とが切り替わるようになっており、この意味で、発

射制御装置70も、遊技制御装置20から送信された指令信号に基づき所定の制御を行うものであるといえる。

【0034】さらに、裏機構盤120の裏側には、貯留タンク121の球無し等の信号を遊技機外部に出力する枠用外部出力端子板81、遊技盤の遊技に関するデータ（特図変動終了信号や特図確率変動状態信号等）を出力する遊技盤用外部出力端子板88、カードユニット用中継基板230などが配設されている。このカードユニット用中継基板230は、排出制御装置30とカードユニット500との信号の授受の中継、ならびに、遊技機前面の上皿105に設けられた球貸スイッチ105a、返却スイッチ105bおよびカード残高表示装置105cとカードユニット500との信号の授受の中継を行う他、後述する電源中継基板95から供給された電源を中継して、カードユニット500に対し供給する機能を備えている。

【0035】加えて、裏機構盤120の裏側には、各制御装置20、30、40、50、60、70（以下では、各制御装置20、…と記載することがある）、およびカードユニット用中継基板230に対し電源供給を行うための電源基板91（図3参照）を有する電源供給装置90と、この電源供給装置90の電源基板91から各制御装置20、…およびカードユニット用中継基板230に対し供給される電源を中継する、本発明に係る電源中継基板95とが、それぞれ設けられている。

【0036】さらに、裏機構盤120の裏側には、遊技機外部の島設備などから電源（例えば、AC24V）が供給されるターミナル基板（図示省略）が設けられており、このターミナル基板を介して、電源供給装置90の電源基板91に対し、AC24Vが供給されている。なお、島設備側からターミナル基板を介さず、直接電源基板91に電源供給しても良い。

【0037】図3に示すように、電源基板91は、上記のように遊技機外部から供給されたAC24Vをもとに、バチンコ遊技機100で使用する各種電源電圧（例えば、DC32V、DC24V、DC12V、DC5Vおよびバックアップ用DC5V）を生成可能なものである。さらに、電源基板91は、電源中継基板95に対し各種電源電圧を供給するための図示しない複数の電源供給用ポートを、各種電源電圧の数だけ備えている。即ち、本実施例の場合、電源基板91は、DC32V、DC24V、DC12V、DC5V、AC24V、およびバックアップ用DC5Vにそれぞれ対応して、合計6つの電源供給用ポートを備えている。なお、AC24Vについては、遊技機外部から電源基板91に対し供給されたものを、そのまま電源基板91から供給するため、電源基板91は、このAC24Vを中継する機能を兼ね備えている。

【0038】他方、電源中継基板95は、電源基板91から供給される各種電源電圧が入力される図示しない複

数（例えば、本実施例の場合、DC32V、DC24V、DC12V、DC5V、AC24V、およびバックアップ用DC5Vにそれぞれ対応して、合計6つ）の電源入力用ポートを備えている。そして、電源基板91のDC32V用の電源供給用ポートから電源中継基板95のDC32V用の電源入力用ポートに対して、また同様に、電源基板91のDC24V用の電源供給用ポートから電源中継基板95のDC24V用の電源入力用ポートに対して、…というように、電源基板91の各電源供給用ポートから、電源中継基板95の各電源入力用ポートに対し各電源電圧が供給されている。

【0039】さらに、電源中継基板95は、各制御装置20、30、40、50、60、70、およびカードユニット用中継基板230に対しそれぞれ所定の電源電圧を抽出して供給可能な複数（例えば、本実施例の場合、制御装置20、…、およびカードユニット用中継基板230にそれぞれ対応して、合計7つ）の出力部95a、95b、95c、95d、95e、95f、95gを備えている。即ち、本実施例の場合、電源中継基板95の出力部95aから遊技制御装置20に対しDC32V、DC12V、DC5V、およびバックアップ用DC5Vが、同様に、出力部95bから排出制御装置30に対しDC32V、DC12V、DC5V、およびバックアップ用DC5Vが、出力部95cから発射制御装置70に対しDC32VおよびDC5Vが、出力部95dから表示制御装置40に対しDC12VおよびDC5Vが、出力部95eから音声制御装置60に対しDC12VおよびDC5Vが、出力部95fから装飾制御装置50に対しDC32V、DC24V、DC12VおよびDC5Vが、出力部95aからカードユニット用中継基板230に対しAC24Vが、それぞれ供給されている。

【0040】ここで、AC24Vは、カードユニット用中継基板230を介してカードユニットに供給されるものである。DC32Vは、特別変動入賞装置5の開閉扉5aを開閉動作させるためのソレノイド（図示略）、各種LED、発射装置71の発射モータ（図示略）、および遊技球の排出動作に関わるソレノイド（図示略）などの駆動用電源である。DC24Vは、サイドランプ12、12等のランプ類の駆動用である。DC12Vは、普通変動入賞装置9、一般入賞口8、…などに設けられた遊技球検出用のスイッチ（図示略）に供給される電源である。DC5Vは、各制御装置20、…内の制御基板（図示略）の駆動用電源であり、バックアップ用DC5Vは、停電時などのためのバックアップ用電源として、遊技制御装置20と排出制御装置30の制御基板に供給されるものである。

【0041】このように、電源中継基板95は、電源基板91から供給された各種電源電圧のうち、各制御装置20、…およびカードユニット用中継基板230の各々が必要とする電源電圧を振り分けて、これら各制御装置

10

20

30

40

50

20, …およびカードユニット用中継基板230に対し供給する機能を有するものである。従って、各制御装置20, …およびカードユニット用中継基板230は、このように供給された各種電源電圧を用いて動作可能であるため、各制御装置20, …およびカードユニット用中継基板230では、独自の電源生成基板を備える必要がない。

【0042】従来、制御装置20, …の各々（ただし、表示制御装置40などは除く）は、それぞれの制御装置20, …で使用する各種電源電圧を生成する電源生成部を備える構成であったが、本実施例の場合、従来は制御装置20, …にそれぞれ備えられていた電源生成部を、電源供給装置90の電源基板91の1つに集約したような構成となっている。よって、各制御装置20, …の、各々の制御基板（図示略）には、電源を生成する機能が不要なので、その分だけ各々の制御基板の基板面積をコンパクトにすることができ、その結果、各制御装置20, …自体をそれぞれコンパクトに構成できる。従って、パチンコ遊技機100の裏機構盤120の裏側の限られたスペースを有効活用することが可能となる。

【0043】さらに、従来、従制御装置の一つとして例示する表示制御装置40などに対しては、遊技制御装置20（主制御装置として例示される）で生成された電源が供給される構成であったが、パチンコ遊技機100においては、電源中継基板95から各制御装置20, …の各々に対し別個に電源が導出されるので、万が一、主制御装置である遊技制御装置20に故障が発生した場合でも表示制御装置40などに悪影響が及ぶ心配がない。

【0044】また、従来、カードユニット500には、排出制御装置30で生成した電源が、カードユニット用中継基板230を介するなどして供給され、この電源を遊技機本体100aとカードユニット500とのデータ通信などに用いる構成であったが、パチンコ遊技機100の電源中継基板95は、カードユニット500に対し所定の電源を供給可能な出力部95gを備えるので、排出制御装置30が万が一故障した場合であっても、カードユニット500には電源が供給されるため、カードユニット500と遊技機本体100aとの通信には問題がない。

【0045】ここで、パチンコ遊技機には、多数の機種が存在するが、例えば、使用する電源電圧の種類が共通のパチンコ遊技機同士をグループにして、多数のパチンコ遊技機をグループ分けした場合、即ち、多数のパチンコ遊技機を、課題を解決するための手段に記載の「所定のグループ」に分けた場合、本実施例のパチンコ遊技機100と同一のグループに含まれるパチンコ遊技機においては、パチンコ遊技機100に備えられた電源基板91および電源中継基板95を流用（共用）することができる。

【0046】所定のグループの分け方としては、使用す

る電源電圧の種類が共通であるか又はほぼ同様のパチンコ遊技機毎にグループ分けした結果、具体的には、例えば、いわゆる第1種のパチンコ遊技機のうちの数機種毎や、いわゆる第2種のパチンコ遊技機のうちの数機種毎や、いわゆる第3種のパチンコ遊技機のうちの数機種毎にグループ分けされたりする。所定のグループの分け方としては、その他に、第1種のパチンコ遊技機と第2種のパチンコ遊技機と第3種のパチンコ遊技機といったグループ分けなどもあり得る。さらに、所定のグループの分け方としては、第1種のパチンコ遊技機のなかで、いわゆるCR機と現金機といったグループ分けなどもあり得る。

【0047】また、電源基板91は、電源中継基板95に対し電源を供給するための電源供給用ポートを、所定のグループにおける最大想定数だけ有する、即ち、電源基板91の場合、パチンコ遊技機100と同じグループ内のパチンコ遊技機において使用されるDC32V、DC24V、DC12V、DC5V、AC24V、およびバックアップ用DC5Vの合計6種類の電源にそれぞれ対応して、図示しない6つの電源供給用ポートを備えているので、電源供給用ポートの数を必要最小限とすることができ、電源基板91の基板面積をコンパクト（必要最小限）にすることができる。

【0048】さらに、以下では、電源中継基板95を別な電源中継基板96、97に交換することで、同一の電源基板91を別なグループ内の遊技機600、700においても共用する例について説明する。

【0049】図4は、パチンコ遊技機100とは別なグループ内のパチンコ遊技機600（全体図示略）における電源供給システムを示すブロック図である。

【0050】このパチンコ遊技機600は、いわゆる第1種の現金機と呼ばれるものであり、遊技機横に設置されたサンド（球貸装置；図示略）への現金投入などにより球貸を受けた遊技球を用いて遊技を行うものである。このパチンコ遊技機600は、上記のパチンコ遊技機100におけるカードユニット500、カードユニット用中継基板230などを有しない点で、パチンコ遊技機100と大きく異なるものであるが、その他の点については、パチンコ遊技機100とほぼ同様の構成を有している。従って、パチンコ遊技機600の各構成要素のうち、パチンコ遊技機100と同様の構成要素については、同一の符号を用いるとともに、その説明を省略して、以下パチンコ遊技機600について説明を行う。

【0051】図4に示すように、パチンコ遊技機600は、パチンコ遊技機100に使用されたのと同じ電源基板91を備えている。さらに、パチンコ遊技機600は、電源基板91から供給された各種電源電圧を遊技制御装置20、排出制御装置30、表示制御装置40、装飾制御装置50、音声制御装置60、発射制御装置70に対し導出するための電源中継基板96を備えている。

10

20

30

40

50



【0052】この電源中継基板96は、出力部95gを有しない点で、パチンコ遊技機100における電源中継基板95と異なり、その他の点では電源中継基板95と同様のものである。つまり、パチンコ遊技機600は、パチンコ遊技機100におけるカードユニット用中継基板230ならびにカードユニット500を有しておらず、カードユニット用中継基板230を介してカードユニット500に対し電源を供給するための出力部95gを必要としないものである。換言すれば、パチンコ遊技機600は、必要とする電源の種類がパチンコ遊技機100と異なるものである。

【0053】このように、パチンコ遊技機100とはグループが異なるパチンコ遊技機600が含まれるグループ内の遊技機において使用される所望の電源を導出可能な電源中継基板96を用いることにより、同一の電源基板91を、パチンコ遊技機600ならびにパチンコ遊技機600が含まれるグループ内の各遊技機においても流用することができる。

【0054】また、図5は、パチンコ遊技機100、600とは別なグループ内のパチンコ遊技機700の遊技盤701を示す正面図、図6はパチンコ遊技機700における電源供給システムを示すブロック図である。

【0055】このパチンコ遊技機700は、いわゆる第3種のCR機と呼ばれるものであり、遊技の様相がパチンコ遊技機100とは大きく異なる他、その遊技制御装置20が、パチンコ遊技機100の遊技制御装置20では必要としないAC24Vを用いる点で、パチンコ遊技機100と異なるものであるが、その他の点については、パチンコ遊技機100とはほぼ同様の構成を有している。従って、パチンコ遊技機700の各構成要素のうち、パチンコ遊技機100と同様の構成要素については同一の符号を付すとともに、その説明を省略して、以下パチンコ遊技機700について説明を行う。

【0056】先ず、パチンコ遊技機700における遊技は、ガイドレール2で囲まれた遊技領域701aを有する遊技盤701の遊技領域701a内に遊技球を発射して行うものである。この遊技領域701aには、図柄可変表示遊技を表示する図柄表示装置704、図柄変動表示遊技の始動口を有する始動装置（特定入賞部）709、図柄可変表示遊技の未処理回数を表示する始動記憶表示器704b、…、開閉部材710a、710aおよび権利発生領域710bを有する第1変動入賞装置710、入賞球保持部714aを備えた回動部材714と、入賞口713aと、図示しない開放スイッチとを有する開放入賞装置713、開閉扉705aおよび開閉扉705aの内側の大入賞口705bを備える第2変動入賞装置705などが設けられている。

【0057】このうち、始動装置709への遊技球の進入に基づき図柄可変表示遊技（補助遊技）が開始され、図柄表示装置704に表示された図柄が所定の停止態様

（例えば、「7、7、7」等）で停止すると、第1変動入賞装置710の開閉部材710a、710aが所定時間だけ開動作する。この開動作中に第1変動入賞装置710に遊技球が入賞し、かつ、遊技球が権利発生領域710bを通過すると、権利が発生し、特別遊技が開始される。この特別遊技中は、開放入賞装置713を狙って遊技球を発射することで、開放入賞装置713の入賞口713aに遊技球が載ると、やがてこの遊技球（入賞球）は回動する回動部材714の賞球保持部714aに保持される。賞球保持部714aに保持された入賞球は、回動部材714の回動に伴って搬送され、やがて、開放入賞装置713の図示しない開放スイッチにより入賞球が検出される。これにより、第2変動入賞装置705の開閉扉705aが開放（開放スイッチによる入賞球検出に基づく開放は所定回数だけ繰り返される）して大入賞口705bへの遊技球の入賞が容易な状態となり、遊技者に対し所定の遊技価値（賞球の大量獲得の機会など）を付与可能となる。

【0058】また、図6に示すように、パチンコ遊技機700は、パチンコ遊技機100に使用されたのと同じの電源基板91を備えている。さらに、パチンコ遊技機700は、電源中継基板97を備えている。この電源中継基板97は、DC32V、DC12V、DC5V、およびバックアップ用DC5Vに加えてAC24Vの電源電圧を遊技制御装置20に対し供給するための出力部97aを、出力部95aの替わりに有する点で、パチンコ遊技機100における電源中継基板95と異なり、その他の点では電源中継基板95と同様のものである。なお、AC24Vの電源電圧は、開放入賞装置713の回動部材714の駆動用電源であり、遊技制御装置20を介して回動部材714の駆動用モータ（図示略）に対し供給される。また、パチンコ遊技機700の表示制御装置40は、7セグメントのLEDや液晶表示器、あるいはブラウン管表示器などからなる図柄表示装置704の表示制御を行うものである。

【0059】このように、パチンコ遊技機100とはグループが異なるパチンコ遊技機600、700が含まれるグループ内の遊技機において使用される所望の電源を導出可能な電源中継基板96、97を用いることにより、同一の電源基板91を、パチンコ遊技機600ならびにパチンコ遊技機600が含まれるグループ内の各遊技機、あるいは、パチンコ遊技機700ならびにパチンコ遊技機700が含まれるグループ内の各遊技機においても流用することができる。逆に、使用する電源電圧の種類に応じて、予め複数種類の電源基板95、96、97等を用意しておき、これら電源基板95、96、97を、遊技機種、即ちパチンコ遊技機100、パチンコ遊技機600、パチンコ遊技機700によって使い分けるといったこともできる。

【0060】また、電源基板91を、パチンコ遊技機1

00が含まれるグループ(所定のグループ)内の遊技機同士では勿論のこと、パチンコ遊技機600、700が含まれるグループ(別なグループ)内の各遊技機においても共用できることにより、遊技機毎に電源基板91を開発・製造する必要がないので、開発コストや製造コストを低減できると共に、リサイクル性に優れたパチンコ遊技機100、600、700とすることができ、環境問題にも対応することができる。

【0061】この第1の実施の形態のパチンコ遊技機100(600、700)によれば、各種電源を供給可能な電源基板91から、各制御装置20、…に対し電源を供給するようにしたので、同じ電源電圧を複数の制御装置20、…でそれぞれ生成することなくまとめて生成できる。よって、各制御装置20、…内の制御基板の基板面積をコンパクトにでき、パチンコ遊技機100(600、700)裏面の限られたスペースを有効に活用することができる。また、電源基板91から供給された各種電源のうち、所定のグループ内のパチンコ遊技機100(600、700)において使用される所望の電源を導出可能な電源中継基板95(96、97)を備えているので、電源基板91および電源中継基板95(96、97)は、そのグループ内の遊技機同士で流用(共用)することができる。さらに、電源中継基板95、96、97のうちのいずれかを、いずれか他のものに適宜交換することにより、一つの電源基板91を、別なグループ内のパチンコ遊技機においても共用することが可能となる。加えて、電源基板91を、所定のグループ内のパチンコ遊技機同士では勿論、別なグループ内のパチンコ遊技機においても共用できることにより、電源基板91の開発コストや製造コストを低減できると共に、リサイクル性に優れたパチンコ遊技機100、600、700を提供することができる。

【0062】しかも、電源中継基板95から、各装置(各制御装置20、…およびカードユニット用中継基板230)に対し、それぞれ別個に電源供給するようにしたので、万が一、各装置のうちのいずれかに故障が発生した場合に、各装置のうちのいずれか他の装置に悪影響が及ぶことがない。

【0063】また、パチンコ遊技機100、700においては、電源基板91は、電源中継基板95に対し電源を供給するための電源供給用ポートを、所定のグループにおける最大想定数だけ、即ち、必要最小限だけ備えた構成であるので、電源基板91の基板面積をコンパクト(必要最小限)にすることができる。

【0064】<第2の実施の形態例>また、図7は本発明に係るパチンコ遊技機として例示するパチンコ遊技機800の遊技盤801を示す正面図、図8はパチンコ遊技機800の電源供給系統を示すブロック図である。

【0065】この第2の実施の形態例では、上記の第1の実施の形態例における電源基板91とは異なる電源基

板92を用いるパチンコ遊技機800について説明する。

【0066】この第2の実施の形態例のパチンコ遊技機800は、いわゆる第2種のパチンコ遊技機と呼ばれるものである。パチンコ遊技機800は、パチンコ遊技機100におけるカードユニット500、表示制御装置40などを備えていない点、ならびに、後述するように、パチンコ遊技機100において用いない電源(例えば、DC18V)を用いる点で、パチンコ遊技機100と大きく異なるものであり、また、遊技の態様もパチンコ遊技機100と異なるものである。以下では、このパチンコ遊技機800の各構成要素のうち、上記の第1の実施の形態例におけるパチンコ遊技機100の構成要素と同様の構成要素には、同一の符号を付し、その説明を省略して、パチンコ遊技機800について説明する。

【0067】まず、パチンコ遊技機800における遊技は、ガイドレール2で囲まれた遊技領域801aを有する遊技盤801の遊技領域801a内に遊技球を発射して行うものである。この遊技領域801aの下部には、左右に離間して1回開放入賞装置(特定入賞部)809、809が設けられ、これら1回開放入賞装置809、809の中央に位置して2回開放入賞装置(特定入賞部)810が設けられている。また、遊技領域801aの中央には、開閉動作可能な変動部材802a、802aを有する変動入賞装置802が設けられ、この変動入賞装置802の内部には、特定領域802bが設けられている。このうち、1回開放入賞装置809に遊技球が入賞すると、変動入賞装置802の変動部材802a、802aが、開動作後、所定時間経過後に再び閉動作するといった開閉動作を1回行い、同様に、2回開放入賞装置809に遊技球が入賞すると、前記開閉動作を2回行うようになっている。このような変動部材802a、802aの開動作中(補助遊技中)に、変動入賞装置802に遊技球が入賞し、かつ、変動入賞装置802の特定領域802bに遊技球が入賞すると、大当たりとなって特別遊技が開始される。この特別遊技中は、変動部材802a、802aが多数回開閉動作し、多数の遊技球が変動入賞装置802に入賞することで、賞球の大量獲得といった所定の遊技価値を遊技者に対し付与可能となる。

【0068】また、図8に示すように、パチンコ遊技機800には、電源基板92と電源中継基板98が設けられている。このうち、電源基板92は、DC18Vの電源電圧を生成可能であり、かつ、このDC18Vの電源電圧を電源中継基板98に対し供給可能な電源供給用ポート(図示略)を備えている点で、上記の第1の実施の形態例におけるパチンコ遊技機100の電源基板91と異なり、その他の点では電源基板91と同様のものである。

【0069】また、電源中継基板98は、電源基板92

から供給されるDC18Vの電源電圧が入力されるDC18V用の電源入力用ポート（図示略）を有し、AC24V用の電源入力用ポートを有しない点と、DC32V、DC12V、DC5V、およびバックアップ用DC5Vに加えてDC18Vの電源電圧を遊技制御装置20に対し供給するための出力部98aを、出力部95aの替わりに有する点と、出力部95d、95gを有しない点で、パチンコ遊技機100における電源中継基板95と異なり、その他の点では電源中継基板95と同様のものである。なお、DC18Vの電源電圧は、変動入賞装置800の変動部材802a、802aを駆動させるためのソレノイド（図示略）の駆動用電源である。

【0070】このような第2の実施の形態例のパチンコ遊技機800においても、第1の実施の形態例と同様に、省スペース化が図れる他、その電源基板92ならびに電源中継基板98を、パチンコ遊技機800と同じグループに含まれる遊技機同士で互いに共用（流用）することができ、リサイクル性に優れ、環境問題に対応したパチンコ遊技機800とすることができるとともに、電源基板92ならびに電源中継基板98の開発・製造コストが低減できる。また、同様に、各制御装置20、…に対し別個に電源供給するので、いずれかが故障した場合に、他に悪影響を及ぼすことがない。

【0071】さらに、パチンコ遊技機で使用する電源電圧の種類に応じて、予め、上記の第1の実施の形態例における電源基板91と、この第2の実施の形態例の電源基板92、即ち、使用可能な電源電圧の種類が異なる複数の電源基板を用意しておき、これら電源基板91、92を遊技機種によって使い分けるといったこともできる。

【0072】なお、本発明はこの実施の形態のパチンコ遊技機に限られるものではなく、例えば、その他のパチンコ遊技機、アレンジボール遊技機、雀球遊技機などの弾球遊技機等にも適用可能である。さらに、上記の各実施形態例では、複数の制御装置（遊技制御装置20、排出制御装置30、…等）を備える構成とし、電源中継基板95、96、97、98からこれら複数の制御装置に対し電源を供給する構成としたが、これに限定することではなく、電源中継基板95、…から1つの制御装置に対し電源を供給する構成としても良い。また、パチンコ遊技機100、700において電源基板91を適用し、パチンコ遊技機800において電源基板92を適用するといったように、それぞれの遊技機で使用する電源のみを供給可能な電源基板91、92を用いる構成（換言すれば、電源供給用ポートを所定のグループにおける最大想定数だけ有する構成）としても良いし、パチンコ遊技機600において電源基板91を適用したように、パチンコ遊技機600では使用しない電源（例えば、AC24V）も供給する電源基板91を用いる構成としても良い（電源供給用ポートを所定のグループにおける最大想定

数を越えて有する、即ち、使用しない電源供給用ポート（例えば、電源供給用ポート95g）がある構成）。前者の場合、上記のように電源基板91、92の基板面積を必要最小限にできるといったメリットを有する一方で、後者の場合、電源基板91の汎用性が高いといったメリットを有する。さらに、電源基板91、92で使用しない電源供給用ポートを備えていても構わないのと同様に、電源中継基板95、96、97、98においても、使用しない電源入力用ポートや、出力部（出力部95g、…、97a、98a）を備えていても良い。全ての電源入力用ポートや出力部を使用する場合、電源中継基板95、…の基板面積を必要最小限にできるといったメリットを有する一方で、使用しない電源入力用ポートや出力部を有する場合、電源中継基板95、…を汎用性の高いものとできるといったメリットがある。

【0073】さらに、第1の実施の形態例のパチンコ遊技機700において、回動する回動部材714を備え、この回動部材714の駆動用にAC24Vを用いる構成としたが、これに限定することではなく、回動部材714以外の部材を用いる構成、あるいは、回動部材714に相当するものを有しない構成であってもよい。また、第2の実施の形態例のパチンコ遊技機800において、開閉部材802a、802aの駆動用電源として、DC18Vを用いることとしたが、これに限定することではなく、これと異なる電源電圧を用いてもよい。加えて、今回開示された実施の形態はすべての点で例示であって制限的なものではないと考えられるべきである。本発明の範囲は上記した説明ではなくて特許請求の範囲によって示され、特許請求の範囲と均等の意味および範囲内でのすべての変更が含まれることが意図される。

【0074】

【発明の効果】請求項1記載の発明によれば、電源基板から供給された各種電源のうち、所定のグループ内の遊技機において使用される所望の電源を導出可能な電源中継基板を備えているので、電源中継基板および電源基板は、そのグループ内の遊技機同士で共用できる。また、電源中継基板を適宜交換することにより、一つの電源基板を、別なグループ内の遊技機においても共用できる。加えて、電源基板を、所定のグループ内の遊技機同士では勿論、別なグループ内の遊技機においても共用できることにより、開発コストや製造コストを低減できると共に、リサイクル性に優れた遊技機を提供することができる。さらに、電源基板から、各制御装置に対し電源を供給するようにしたので、各制御装置内の制御基板の基板面積をコンパクトにでき、遊技機裏面の限られたスペースを有効に活用することができる。

【0075】請求項2記載の発明によれば、電源中継基板から主制御装置と従制御装置の各々に対し別個に電源が導出されるので、万が一、主制御装置に故障が発生した場合でも従制御装置に悪影響が及ぶ心配がない。

【0076】請求項3記載の発明によれば、電源中継基板は、カードユニットに対し所定の電源を導出可能な出力部を備えているので、電源中継基板からカードユニットに対し電源を出力できる。従って、排出制御装置が万が一故障した場合であっても、カードユニットには電源が供給されるため、カードユニットと遊技機本体との通信には問題がない。

【0077】請求項4記載の発明によれば、電源基板は、所定のグループ内の遊技機同士で共用されるものである。従って、電源基板のリサイクルが可能となる。従って、電源基板を、すべての遊技機種に対応して開発する必要が無く、開発コスト低減が可能である。しかも、電源基板のリサイクルが可能のため環境問題にも対応した遊技機とすることができる。また、使用する電源電圧の種類に応じて、予め複数種類の電源基板を用意しておき、これら電源基板を遊技機種によって使い分けるといったこともできる。加えて、電源基板は、電源中継基板に対し電源を供給するための電源供給用ポートを、所定のグループにおける最大想定数だけ有するので、電源供給用ポートの数を必要最小限とすることができ、電源基板の基板面積をコンパクト（必要最小限）にすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る遊技機として例示するパチンコ遊技機を示す正面図である。

【図2】パチンコ遊技機の背面図である。

【図3】パチンコ遊技機における電源供給系統を示すブロック図である。

【図4】本発明に係るパチンコ遊技機として例示するパチンコ遊技機における電源供給系統を示すブロック図である。

【図5】本発明に係るパチンコ遊技機として例示するパチンコ遊技機の遊技盤を示す正面図である。

【図6】パチンコ遊技機における電源供給系統を示すブロック図である。

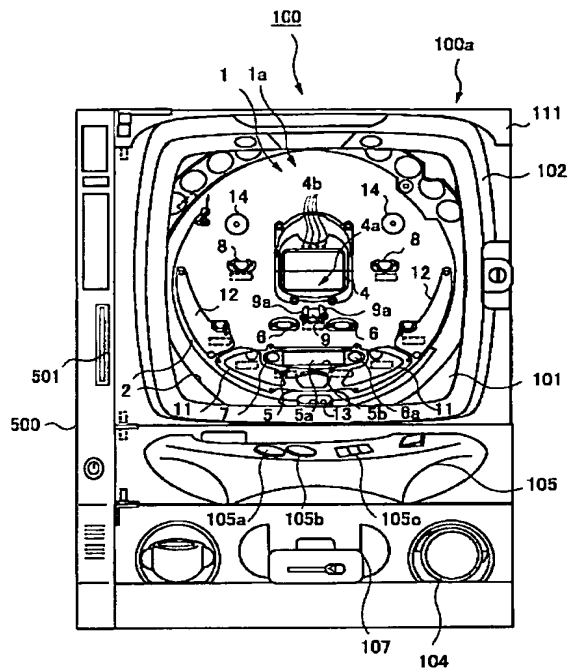
【図7】本発明に係るパチンコ遊技機として例示するパチンコ遊技機の遊技盤を示す正面図である。

【図8】パチンコ遊技機の電源供給系統を示すブロック図である。

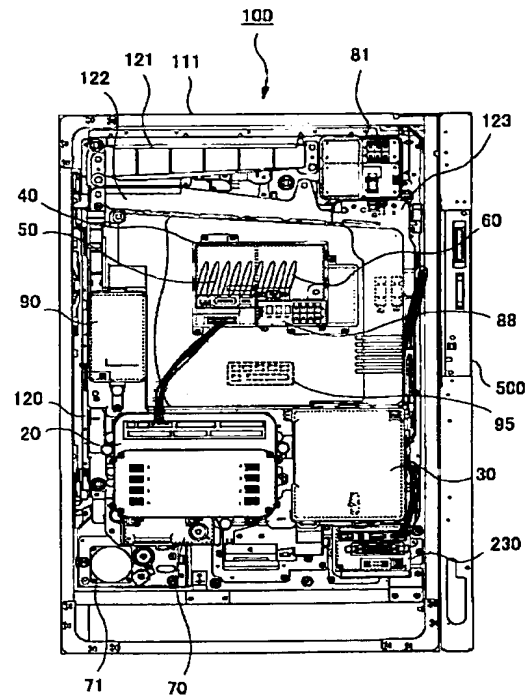
【符号の説明】

100	パチンコ遊技機（遊技機）
100a	遊技機本体
500	カードユニット
9	普通変動入賞装置（特定入賞部）
20	遊技制御装置（制御装置のうちの主制御装置）
30	排出制御装置（制御装置のうちの従制御装置）
40	表示制御装置（制御装置のうちの従制御装置）
50	装飾制御装置（制御装置のうちの従制御装置）
60	音声制御装置（制御装置のうちの従制御装置）
70	発射制御装置（制御装置のうちの従制御装置）
91	電源基板
95	電源中継基板
95g	出力部
600	パチンコ遊技機（遊技機）
96	電源中継基板
700	パチンコ遊技機（遊技機）
709	始動装置（特定入賞部）
97	電源中継基板
800	パチンコ遊技機（遊技機）
809	1回開放入賞装置（特定入賞部）
810	2回開放入賞装置（特定入賞部）
92	電源基板
98	電源中継基板

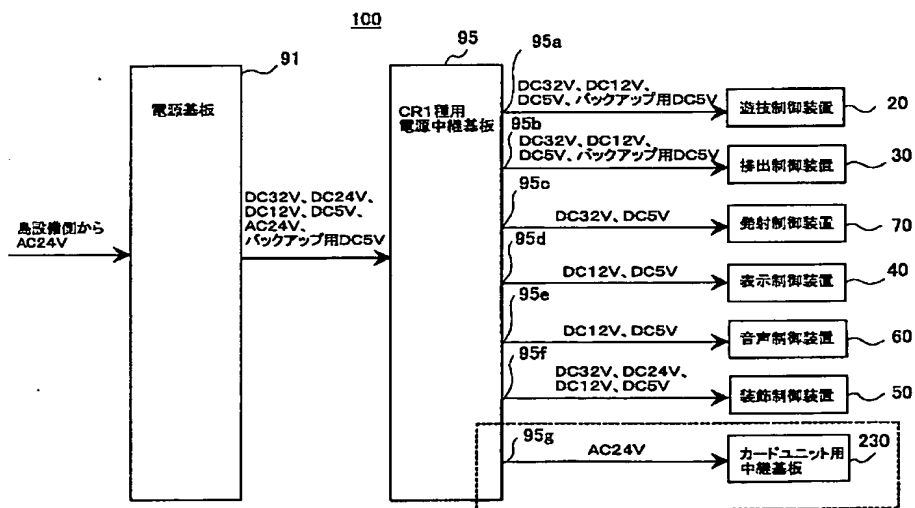
【図1】



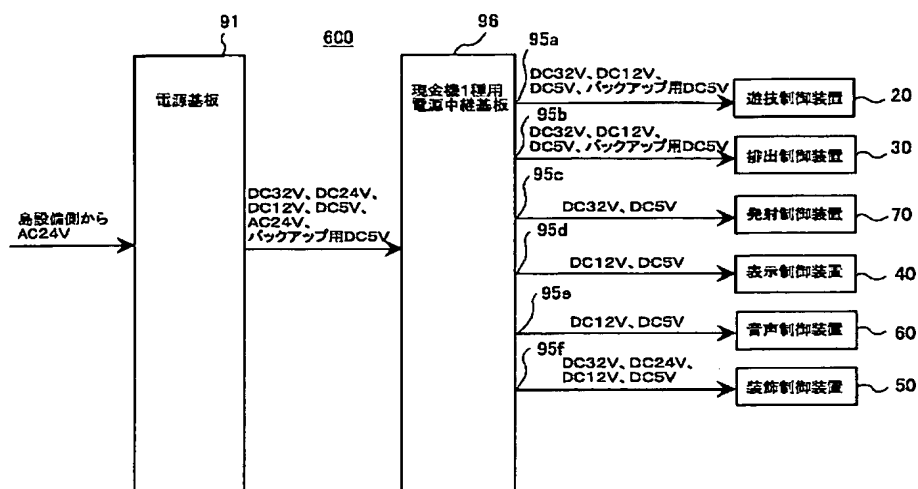
【図2】



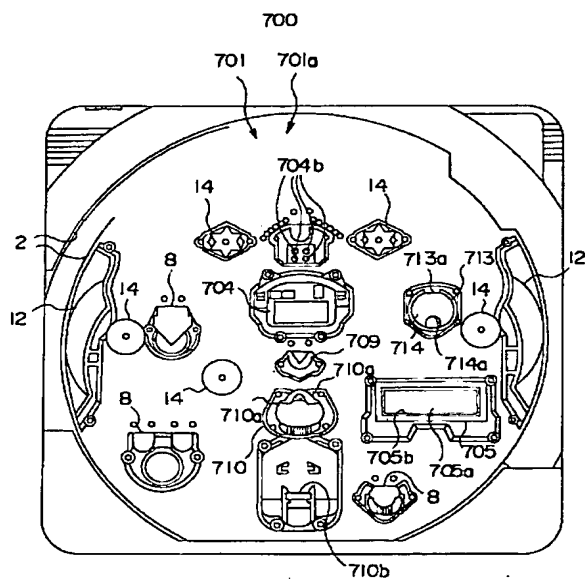
【図3】



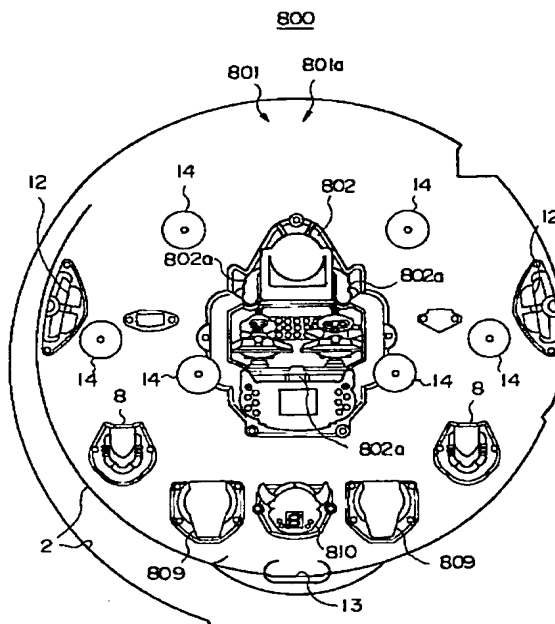
【図4】



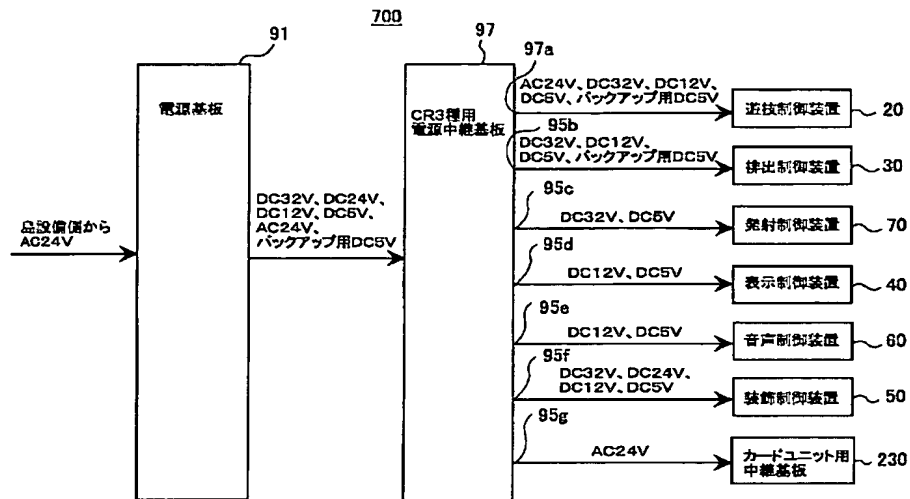
【図5】



【図7】



【図6】



【図8】

